

聖学院大学 第2回大学評価会議 報告書（総括）

I 聖学院大学 第2回大学評価会議 実施概要

1. 趣旨

聖学院大学の教育方針・内容及び学外との連携などを対象にした自己点検・評価による改善に関して、地元自治体及び地域の経済団体等からご意見・評価を頂き、一層の大学教育の拡充及び地域との連携の推進を図る。

2. 外部有識者に意見・評価を求める事項

冒頭 大学基準協会認証評価 自己点検・評価報告書について

議題1. 内部質保証に関する事項

- 1) 内部質保証体制、新たな自己点検・評価制度の導入
- 2) 1) の内部質保証体制を支える大学の機構(IR室、教育開発センター構想)
- 3) 教員教育研究業績評価システム

議題2. 教育課程編成に関する事項

- 1) 高大接続に伴う入試改革、入学者受け入れ
- 2) 教育課程編成

報告事項 1) 地域連携及び産学官連携

- 2) 持続可能な開発目標 (SDGs)
- 3) グローバルキャンパスセンター
(留学生センター、台湾長栄大学とのダブルディグリー・プログラム)
- 4) 研究支援活動

3. 外部委員

日本薬科大学 副学長 都築 稔 氏

放送大学埼玉学習センター 所長 堀尾 健一郎 氏

埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課 教育指導幹 田中 邦典 氏

上尾市市民生活部 次長 黒田 正司 氏

さいたま市教育委員会学校教育部高校教育課主席指導主事 根岸 君和 氏

埼玉経済同友会 専務理事 大石 克紀 氏

上尾商工会議所 専務理事 三井田 晴宏 氏

さいたま商工会議所 専務理事 持田 光司 氏

さいたま北商工協同組合 副理事長 新井 一年 氏

埼玉県社会福祉協議会 事務局長 鈴木 智行 氏

4. 開催日時・開催方法・出席者

日 時：2021年8月4日（水）午前10時00分～12時00分

方 法：ハイブリッド開催（Zoom）（対面会場：聖学院大学 ヴェリタス館 2階学長会議室）

出席者：外部委員 9名（1名御欠席）、内部委員 16名（1名欠席）

II 外部委員からの意見・評価

議題1. 内部質保証に関する事項

内部質保証に関し、大学基準協会への自己点検評価報告書提出後も、教育開発センター準備室の設置等、さらに踏み込んだ改善を始めており、意欲的に取り組んでいるとの評価を得た。また教職員の負担軽減や教員の教育研究時間の創出の観点から、大学基準協会指摘後の評価システム改善検討についてご意見をいただいた。

コロナ下におけるオンライン授業の取り組み状況や学生へのフォローアップ、アセスメントやルーブリック評価の学生への還元、教員教育研究等業績評価制度について意見交換を行った。

議題2. 教育課程編成に関する事項

高大接続に伴う入試改革について、総合型選抜の工夫など本学の取り組み状況への評価を得た。自治体との包括協定などを通して地域の課題を拾い上げ、企業等様々な関係機関との連携を深めながら新しい聖学院大学を作ってほしいとの期待をいただいた。また学生や地域が一緒に取り組んでいる本学のSDGs活動について好意的な評価を得た。

教育課程に関して、各学部・学科・研究科とも、3つのポリシーが、相互の一貫性・整合性に留意して策定されており、学内外に分かりやすく発信されている、学生の成長を促すようにきめ細かな配慮がなされているとの評価を得た。また教育の質を向上させるために魅力的な学生、教職員が増えていくことが大切であり、各カリキュラムの中で教員と学生、学生同士、教員同士が、お互いが刺激しあえるように様々な工夫を凝らすことの重要性について意見をいただいた。

III. 外部委員の意見・評価を受けての大学の所見・総括

コロナの影響下において、大学は1年半に渡りオンライン主体の授業が続いており、学生とオンラインを通して対話を続けてきた。コロナ後にも、オンラインを使っての学び、自己成長にこの1年半の経験を活かしていきたい。共感力があり、対話力があり、実践力のある人間的魅力あふれる学生を育てていくという大学の目標に沿って、教育改革に集中していく。

本学の内部質保証体制は最善のものではない。大学評価の外から与えられる条件自体について自問自答を繰り返しつつ、今後とも、外部委員の皆様のお知恵をお借りし地域の皆様のご理解を賜りながら、真の教育を求める努力を続けていきたい。

以上